

引っ越しなどで出た大量の不用品の正しい片付け方

引っ越しや遺品整理、子どもの独立などで家の中を片付けた時に大量の不用品が出る場合があります。しかし、横浜市では一度に大量のごみを集積場所に出すことはできません。理由は、通常の収集に支障が出てしまうためです。このような大量のごみを処分するには、横浜市の分別ルールに基づき自分で分別をして、指定の場所まで持ち込む必要があります。（「燃やすごみ」「粗大ごみ」を持ち込む場合は有料となります。）詳しくは、お住まいの区の資源循環局事務所までご相談ください。

もうひとつの処分方法は、専門業者に依頼することです。ただし、業者のなかには高額な料金を請求したり、回収した不用品を不法投棄したりする違法業者もいますので注意が必要です。正式な一般廃棄物収集運搬業許可業者に依頼するのが安全なので、横浜市一般廃棄物許可業協同組合に問い合わせ、紹介してもらうとよいでしょう。

また、リサイクル組合でも大量の不用品を「リサイクルできるもの」「そのまま使えるもの」などに分別して処分する「お片付けコンシェルジュ」サービスがありますのでご活用ください。



資源物や粗大ごみなどを含む大量の不用品の山



「お片付けコンシェルジュ」による2トントラック1台分の不用品



■ お片付けコンシェルジュの作業の流れ

① お問い合わせ

電話、メールにてお問い合わせいただき、お話を伺いながら現地での見積りの日程を決めます。



② お見積り(無料)

要望を伺いながら、お片付けを行う現場を確認します。



③ 作業予約

お見積りが予算に合えばご依頼いただきます。詳しい作業内容をお客様と確認し、作業予約します。



④ 作業当日

予約した日時に伺い、仕分け分別しながらお片付けします。



ごみと資源物の分別一覧

ごみと資源物の正しい分別は、資源リサイクルの基本です。下の分別一覧をよく確認して、間違いのないように分別しましょう。また、分別がわからないときは「ミクシヨナリー」や「イーオのごみ分別案内」で簡単に調べることができます。

資源集団回収

古紙



新聞

四つ折りにして束ねてください。折込チラシは一緒に出してかまいませんが、雑誌、その他の紙を同じ束の中に混ぜないようにしてください。



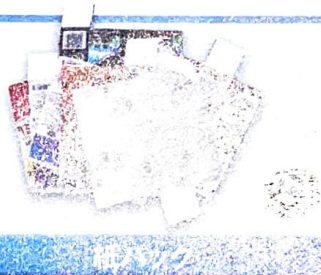
雑誌・その他の紙

雑誌は付録を外して束ね、その他の紙は紙袋に入れてください。汚れた紙やカップ麺、アイス、ヨーグルト、洗剤の紙容器などは燃やすごみです。



段ボール

ビニールや粘着テープを外し、折りたたんで束ねてください。箱のまま出したり、中に他の段ボール、雑誌などを入れて出さないでください。



紙パック

「紙パックマーク」を確認してください。洗って切り開き、乾かして束ねてください。内側がアルミ貼りのものは燃やすごみに出してください。

古布



衣類、シーツ、毛布、カーテンなどを洗濯して乾かし、透明または半透明の袋に入れて出してください。雨の日には出さないでください。

アルミ缶・スチール缶



自治会・町内会によっては、アルミ缶・スチール缶も資源集団回収で回収しているのを確認してください。アルミ缶とスチール缶は分けてください。

缶・びん・ペットボトル



缶

残っている中身を捨てて軽くすいであらしてください。金属製のふたやキャップは小さな金属類に出してください。



びん

食べ物や飲み物が入っていたびんが対象になります。化粧品のびんなど、食べ物や飲み物以外が入っていたびんは燃えないごみで出してください。



ペットボトル

「PETマーク」を確認してください。中身を捨て、軽くすいであらしてください。キャップとラベルは外して、プラスチック製容器包装に出してください。



プラスチック製容器包装

「プラマーク」を確認してください。中身を使い切り、軽くすすいでください。商品が入っていたポリ袋、ラップ類、緩衝材も出せます。



スプレー缶

中身を全部使い切ってからキャップを外し、透明または半透明の袋に入れて出してください。危険なので缶に穴をあけないでください。



小さな金属類

30cm未満の金属製品です。傘の骨は30cm以上でも出せます。ペンキ缶などは中身を使い切り、刃物などは紙で包んで品名を書いて出してください。



乾電池

マンガン乾電池、アルカリ乾電池、リチウム一次電池などが対象です。ボタン電池や充電式電池は販売店などにあるそれぞれの回収ボックスへ出してください。



粗大ごみ

金属製品は一番長い辺が30cm以上のもの、プラスチック商品、木製品などは50cm以上のものです。電話、インターネットまたはチャットで事前のお申し込みが必要です。

●粗大ごみ受付センター

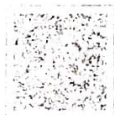
☎ 0570-200-530 受付 045-330-3953

(月～土 8:30～17:00年休日は受付外(年中無休))

●インターネット受付



●チャット受付(※申し込み不要)
(チャットボット)



燃やすごみ

台所の生ごみやプラスチック製品、汚れた紙などが対象です。水気が多い生ごみはできるだけ水を切ってから出してください。



燃えないごみ

化粧品のびんなどのガラス類、陶器類、蛍光灯・電球などです。購入時の箱や新聞紙、厚紙などで包み、品名を書いて出してください。



リサイクル組合からのお知らせ

円滑なリサイクルのために、日頃の分別にご協力をいただき、ありがとうございます。リサイクル組合に定期的に資源物の回収についてお問い合わせがありますので、このニュースコーナーにおいても周知させていただきます。

新型コロナウイルスの感染が世界中に広がり始めた2020年、古布の輸出や海外の工場の稼働が停止し、リサイクルが滞っていたため、自宅保管のご協力依頼のお知らせなどが横浜市や自治会から発信されたと思います。しかし、現在はリサイクルルートの滞留が解消されており、古布もこれまで通りのリサイクルが可能になっています。そのため、通常通りに古布をお出し

いただくことができるようになっていきます。これまで自宅保管にご協力をいただき、ありがとうございます。

また、新型コロナウイルスの感染防止の観点から古紙や古布を出していた際に注意していただきたいことがあります。それは、使用済みマスク混入の防止です。製品名に「紙マスク」や「不織布マスク」などのように「紙」「布」と付いていてもマスク類は資源物としてリサイクルすることはできません。必ず「燃やすごみ」として分別するようにお願いします。

新型コロナウイルスという未曾有の危機との遭遇から2年以上が経ちました。私たちの日常生活や働き方にも大

きな変化がもたらされました。リサイクル組合は今後も社会の変化に柔軟に対応し、感染対策を徹底しながら皆様の生活に関わる資源回収、リサイクルに滞りが出ないように努力していきますので、引き続きご協力をお願いします。



マスク類は「燃やすごみ」に分別してください

リサイクル組合の「再生品」

ティッシュペーパー 「コアレックスティッシュ」

資源回収された牛乳パックからリサイクルした製品です。フィルム包装のためコンパクトで運びやすいサイズです。しっとりした手触りで表面もしっかり目が詰まっています。

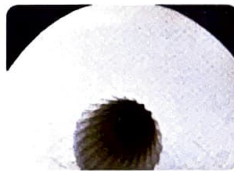
1ケース 5,480円
(6パック入り×10/
60パック)



トイレペーパー 「業務用コアレス」

横浜市内で回収された古紙を原料にした地産地消のリサイクル製品です。ふんわりした手触りでしっかり目が詰まっています。芯なしなので最後はそのままトイレに流せます。

1ケース 4,980円
(6ロール入り×10/
60ロール)



紙ひも 「小結くん」

牛乳パックから再生した紙ひもです。新聞や雑誌を束ねるときに使えば、丸ごとリサイクルできるので手間と時間が省け、ごみの減量にも貢献します。

箱売り1箱(50巻)
11,550円



●ご注文・お問い合わせ 横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 TEL: 045-444-2531 E-mail: mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからご覧いただけます。

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。



リサイクルデザインの発行予定

2022年夏号: 6月25日

2022年秋号: 9月25日

2022年冬号: 12月25日

2023年春号: 3月25日